

フルコンタクト空手 全国V

小学生から大学生12人 知事訪問

寸止めではなく直接の打撃が認められているフルコンタクト空手で、全国優勝を果たした県内の小学生から大学生まで計12人が24日、名古屋市中区の県公館を訪れ、大村秀章知事に活



活躍を報告に訪れた選手たち
―名古屋市中区の県公館で―

躍を報告した。12人は、昨年11月26日に東京都内であったJKJO全日本ジュニア空手道選手権と、全日本学生フルコンタクト空手道選手権（インカレ）で、それぞれ出場した階級を制した。

全日本ジュニアでMVPに当たる文部科学大臣賞に輝いた大府市南中3年の正木翔夢さん（15）は「今まで以上に練習し、来年もこの場に来られるように頑張っていきたい」とあいさつ。

インカレの女子軽量級で2連覇した愛知教育大3年の岡田葵さん（21）は「教員を目指して勉強している。文武両道で頑張りたい」と声を弾ませた。

◇県公館を訪れたほかの選手の皆様さん

- 成田薫実（半田商業高2年）
- 我那覇優羽（名古屋市神沢中1年）
- 安藤暖琉（知多市岡田小5年）
- コルニエンコ夢乃奈（向陽高1年）
- 中西啓太（安城市東山中1年）
- 本杉一颯（刈谷市富士松中3年）
- 村海晴（豊橋中央高1年）
- 木村亜璃衣（一宮市開明小3年）
- 服部愛夢（稲沢市大里西小4年）
- 岩口紗藍（中京大京高1年）